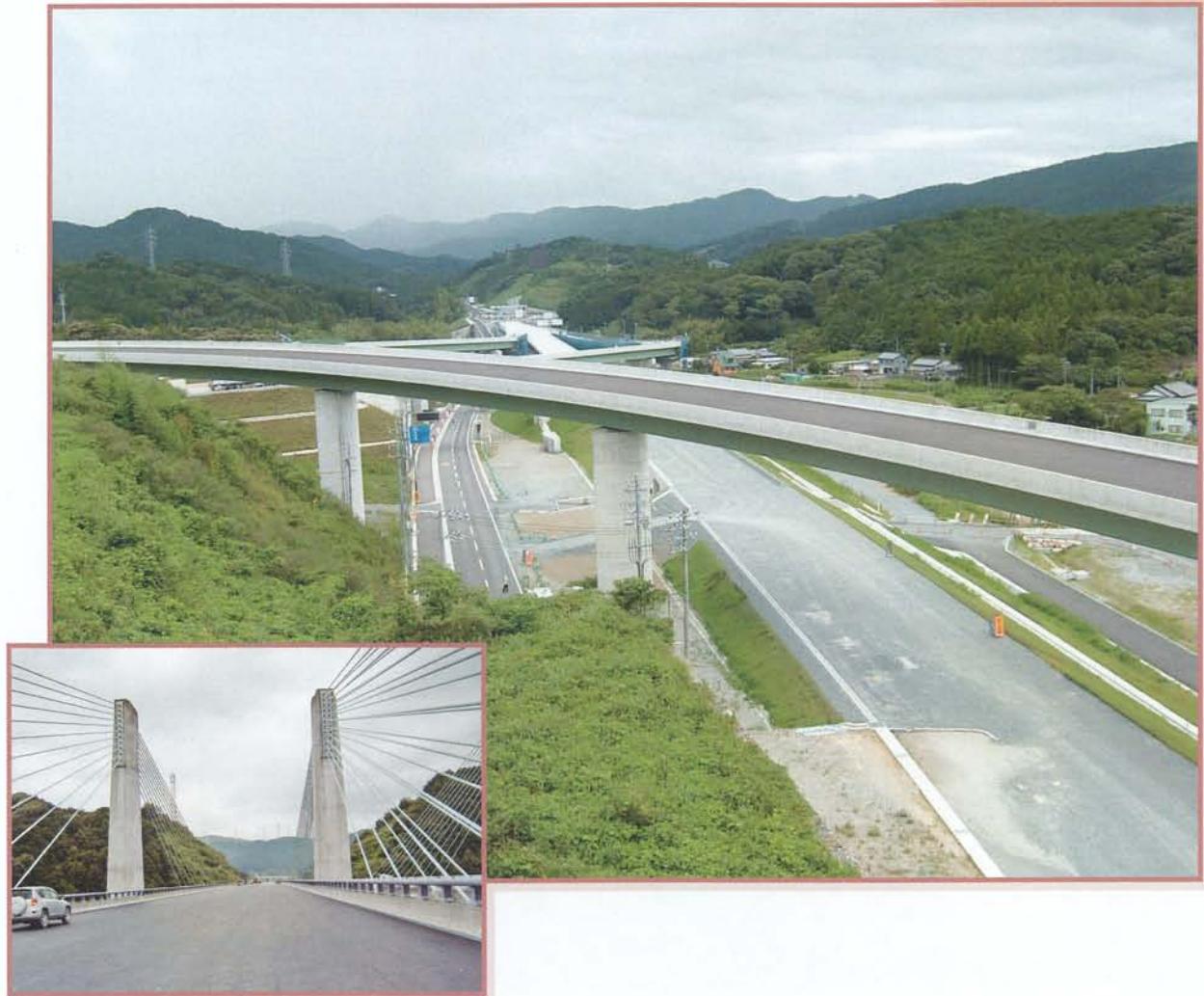


平成24年1月16日

# てんりゅう

負けるな東日本！  
がんばろう日本！



## 「新東名高速道路」

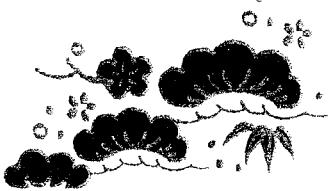
平成24年初夏の開通を目指し着々と工事が進んでいます。  
中央の写真は、工事中の「新東名高速道路」浜松いなさJCTの高架橋及び当道路  
に接続する三遠南信自動車道、左下の写真は、都田川にかかる都田川橋です。  
(H.23.8.5、(社)天竜建設業協会主催「親子現場見学会」で撮影)

会報てんりゅう 第102号

(社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町鹿島491-5 ☎(053)926-1562  
編集・発行 広報委員会 題字 長谷川智彦 FAX(053)925-6468  
電子メールアドレス tenryu@aqua.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>

# 謹賀新年

会長 長谷川智彦



(社)天竜建設業協会  
会長  
長谷川 智彦

モンゴル国

静岡県公式訪問団

視察を終えて

その二

モンゴルでは草原のため雨水は大地に浸み込んでいくと考えられているので排水機能が遅れています。ウランバートルの道路も舗装も暖かく過ごすことができず、降雨で頻繁に浸水するそうです。

モンゴルでは、新法の制定により5年前から外国企業の参入が規制緩和されました。住宅販売では外国企業に政府が買い取り販売する契約があり、社会資本整備に関する政



▲ウランバートルの交通

社あり合弁会社を設立するならば責任を持つて紹介することでした。また、建築資材の展示会などが静岡県内であれば是非訪問したいとのことでしたので機会があれば当

府保証もあります。建築ラッシュですが、建築資材の製造が国内ではなく、中國などからの輸入に頼っているのが現状です。

モンゴル建築協会と当協会にてエンジニアの育成や住宅の耐震調査、労働安全などの技術支援による提携が提案されました。

持ち帰り検討することにしました。建築協会には会員が200

協会で対応する旨を伝えました。また、道路・運輸・建設・都市計画大臣は、日本への石炭の輸送ルートの開拓とともにドルノゴビ県に計画中の火力発電所に対する技術協力、モンゴル国での社会資本整備への技術支援・協力を要請しました。日本に対して、ODAで援助してくれたとのよいイメージを持つていますが、すぐ提携しない様子をどうやら慎重で对外志向の意欲がないと見られているようでした。

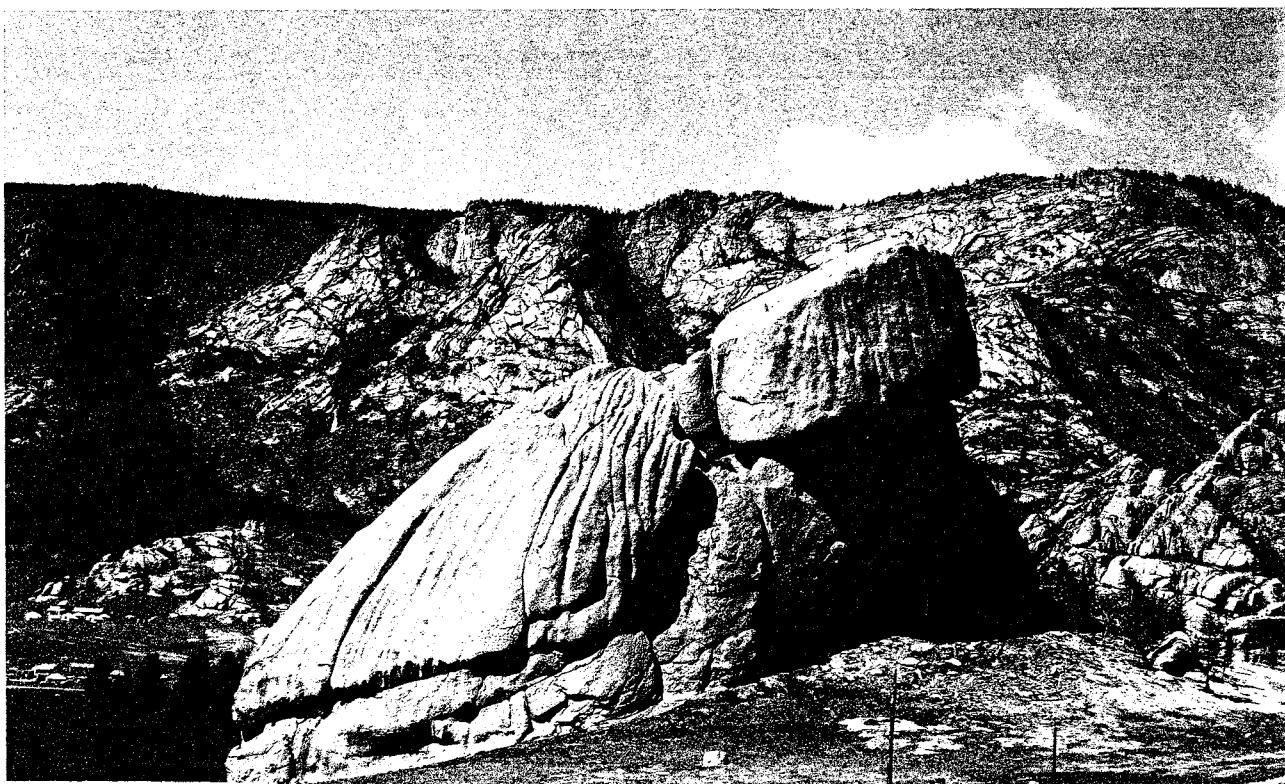
モンゴルは人口274万人のうち35歳以下が70%と若く、諸外国に留学し語学も堪能で優秀な人材が多数います。また女性の活躍もめざましく、私たちを案内してくれた女性ガイドのトウブシンガヤさん（写真）は国際海洋高校（菊川市）に留学経験があり、現在はモンゴル国立大学（日本の東京大学に相当）で生物工学を学ぶ優秀な学生です。彼女のよう親日家で日本語を理解し

ている人も1万2000人ほどいるといわれています。建築ラッシュということもあり高所からの墜落事故など災害が多発しているそうです。その点、日本の技術、品質、安全管理に大きな信頼感を寄せており提携を望む大きな要因となっています。優秀な人材は取り合いになつておこころが大きい。自國に資金がなく資源開発が頼みの綱です。首都以上に地方は開発が遅れており、社会資本の整備の重要性は非常に大きく、モンゴル国における建設業の将来は明るいでしょう。皆さんも是非一度訪れてみて下さい。

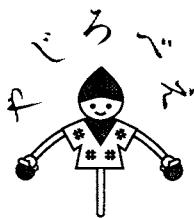
(完)



▲ガイドのトウブシンガヤさん



▲自然の造形



## バレーボール

がとても印象的でした。

T・H

先日、家族と一緒にW杯バレーの試合をテレビで見ていると、長女が私に向かって、「私、バレーボールをやってみたい！」と言い出しました。私と妻は急に言わされたので、一瞬目が点になってしまいました。

すると娘は立ち上がり、腕を大きく上げ下げる、ジャンプしながら「私、これやってみたい！」と言うのです。私は、動作をする娘に「それは、アタックと言つて背が高くないとダメだよ、レシーブかトスを上げる方じゃないの！」とバレーボールの経験のない私が、適当なことを言つてしましました。

娘は、翌日になつてもバレーボールへの熱意が消えていなかつたので、知人の紹介でバレーボールのクラブを見学させてもらいました。体育館に入ると、クラブの子供達が大きな声を出し真剣な表情でボールに向かい、練習している姿

クラブのメンバーは小学生が主で、練習相手はクラブの卒業生と大人の混成チームです。

娘が真剣な顔で見学していると、高校の女生徒がボールをもつて娘に話しかけ、バレーボールを教えてくれました。娘は長女ということもあり、お姉さんに教えてもらうことがとてもうれしかつたようです。

娘は私と同様に、もう少し遊びながら楽しくやつているものだと思つていたそうです。娘はまだ小学4年生、体は小さく、細い腕や手足、親としてはとても心配ですが、娘がバレーボールをやる気でいるのであれば、陰ながら応援、協力していきたいと思っています。

「娘よ、頑張れ！応援しているよ！」

天竜土木整備事務所春野土木グループに配属され5ヶ月が過ぎました。

この夏は大雨や台風などで土砂崩れや倒木など大きな被害があちこちで多くあり、その被災現場ではいまだに爪痕が残っているところがあります。しかし、春野は自然が豊かでとても美しいところです。

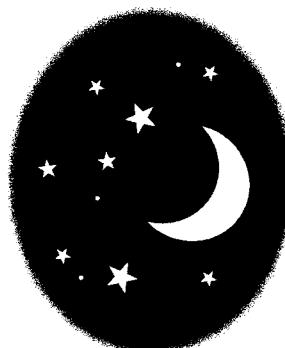
これから冬、また凍結などいろいろあると思います。自分の仕事もまだまだ慣れないことが多く、業務に追われる毎日ですが、この自然あふれる春野の地域で、自分なりにがんばっていきたいと思っています。

私が春野で特に気に入っているのは、夜空が澄んでいて、とてもきれいなところです。この時季は日が暮れるのも早く、午後5時ごろになると日もとう



河合 正博

かんとくさん





# My Family

## 『マイファミリー』



(株) 松下建設 松下進介

我が家は七人家族です。三人の子供、長男（六歳）長女（四歳）次男（三歳）と、私達夫婦と父と母です。長男の侑雅は、最近少年野球チームに入り、小さな体で生懸命頑張っています。将来の夢は、プロ野球選手だそうです。長女の莉子は、今年から幼稚園に行き始めましたが、男の子のようにとっても活発です。大好きなピアノも、最近習い始めたばかりで張りきっています。次男の歩叶は、とても気が小さくて、いつも泣いて（泣かされて）います。ダンプやユンボがとても好きです。

兄弟喧嘩が絶えませんが、誰か一人でも元気がないと、お互に心配しあうとても仲の良い三人です。これからもずっと、今のこの優しい気持ちを忘れずに育つていてほしいと思っています。

休日には、始めたばかりの長男の野球に付き合って、キヤッチボールをしたり、家族旅行に連れて行ったりと、忙しい日々を送っています。三人の子供の成長を見守りながら、笑顔の絶えない家族でいられたらいなと思います。

一日一日を、子供と一緒に過ごしたいです。



▲水没した各戸を示した掲示板



◆平成23年11月設置された石灯籠

平成二十三年十一月十二日に新しく神社境内に左右対の石灯籠が設置されました。

水没のため四部落の神社は1箇所に集められ昭和四十四年に栃生会を発足させ三年に度湖畔の神社で祭りを開催し故郷を偲んでいます。

ダム建設の際に諸久頭・小又村・瀬戸尻・途中村の四部落が水没しました。水没家屋は三十三戸、移住者は百五十五人でした。

**お宝発見**

シリーズ第14回 横生会の思い出の掲示板と神社

飯島 雄一

今は、私にもできる明るい挨拶と笑顔で、お客様をお迎えすることを大切にして、今後も努力していきたいです。

ご来店をお待ちしています。

磐田信用金庫  
佐久間支店

杉野 桃加さん



皆様には日頃から「いわしん」をご利用していただきありがとうございます。

私は今年度入庫し、佐久間支店に於ては、研修や勉強会だけでなく職場の仲間、お客様と接することから多くのことが学べます。多くのことを吸収して自分を成長させ、地元の皆様に信頼され、お役に立てるように努力してまいります。



水窪ダムに電源神社があります。

ダム建設の際に諸久頭・小又村・瀬戸尻・途中村の四部落が水没しました。

水没家屋は三十三戸、移住者は百五十五人でした。